

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

351

ひとり親家庭等医療費助成事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	3	保護・援助を必要とする子供への支援

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	社会福祉費		
	目	福祉医療費		
	大事業	福祉医療事業（こども家庭課）		
中事業	ひとり親家庭等医療費助成事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	こども家庭課	高岡 秀人 435-1219
事業実施の根拠法令	ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例及び規則		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	医療費等の助成を行うことにより、健康の保持を図りひとり親家庭等の福祉の増進に寄与することを目的とする。		和歌山市に住所を有するひとり親家庭の親と児童、父母の死亡や行方不明等のため父母以外の者に扶養されている児童で、児童が18歳になった年度の年度末まで規則で定める所得制限内の者が受けた保険診療の医療に係る経費の自己負担分と入院時食事療養費の半額を助成する。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	受給資格審査、医療費等の支給、台帳管理及び県への報告等	医療機関に対して支払うが、県外の医療機関等で医療を受診した場合は受給資格者に支払う。入院時食事療養費の助成は、申請により受給資格者に支払う。	医療機関に対して支払うが、県外の医療機関等で医療を受診した場合は受給資格者に支払う。入院時食事療養費の助成は、申請により受給資格者に支払う。	医療機関に対して支払うが、県外の医療機関等で医療を受診した場合は受給資格者に支払う。入院時食事療養費の助成は、申請により受給資格者に支払う。	医療機関に対して支払うが、県外の医療機関等で医療を受診した場合は受給資格者に支払う。入院時食事療養費の助成は、申請により受給資格者に支払う。	

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	420,370	398,729	421,781	404,419	414,017	359,847	395,307	0	395,307	0
伸び率（%）	1%	△3.8%	0.3%	1.4%	△1.8%	△11%	△4.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	13,427	14,626	14,739	16,108	14,889	10,749	10,033	0	10,033
	正規職員以外	2,090	2,644	2,681	2,341	2,387	1,373	1,875	0	1,875
	小計	15,517	17,270	17,420	18,449	17,276	12,122	11,908	0	11,908
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	209,732	202,162	209,018	202,781	206,297	182,135	197,155	0	197,155	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	20	368	20	491	20	632	20	0	20	0
一般財源（税等）	210,618	196,199	212,743	201,147	207,700	177,080	198,132	0	198,132	0
所要人数 （人）	正規職員	1.68	1.83	1.83	2.00	1.87	1.35	1.26	0.00	1.26
	正規職員以外	0.88	1.39	1.50	1.29	1.21	0.66	0.76	0.00	0.76
主な予算内訳	扶助費 402,976千円、審査支払手数料 9,061千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
受給者数		人	目標値					
			実績値	9,728	9,455	9,237		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
償還件数		件	目標値					
			実績値	5,923	5,905	5,100		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
助成件数		件	目標値					
			実績値	139,924	141,023	121,252		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	ひとり親家庭等に対して医療費の助成を行うことで、親と子の健康の保持を図り、経済的負担の軽減に大きな役割を果たしている。
見直し・改善内容	医療機関等の適正な受診について広報・周知を行う。